

Needs and Challenges for a Platform to Support Large-scale Requirements Engineering

一言で言うと……

実務者が要求工学に関する手法・ツールに対して求めていることを調査した。

出典：

Davide Fucci, Cristina Palomares, Xavier Franch, Dolores Costal, Mikko Raatikainen, Martin Stettinger, Zijad Kurtanovic, Tero Kojo, Lars Koenig, Andreas Falkner, Gottfried Schenner, Fabrizio Brasca, Tomi Männistö, Alexander Felfernig, and Walid Maalej. 2018. Needs and challenges for a platform to support large-scale requirements engineering: a multiple-case study. In Proceedings of the 12th ACM/IEEE International Symposium on Empirical Software Engineering and Measurement (ESEM '18). ACM, New York, NY, USA, Article 19, 10 pages. DOI: <https://doi.org/10.1145/3239235.3240498>

紹介担当：伏田 享平（NTTデータ）

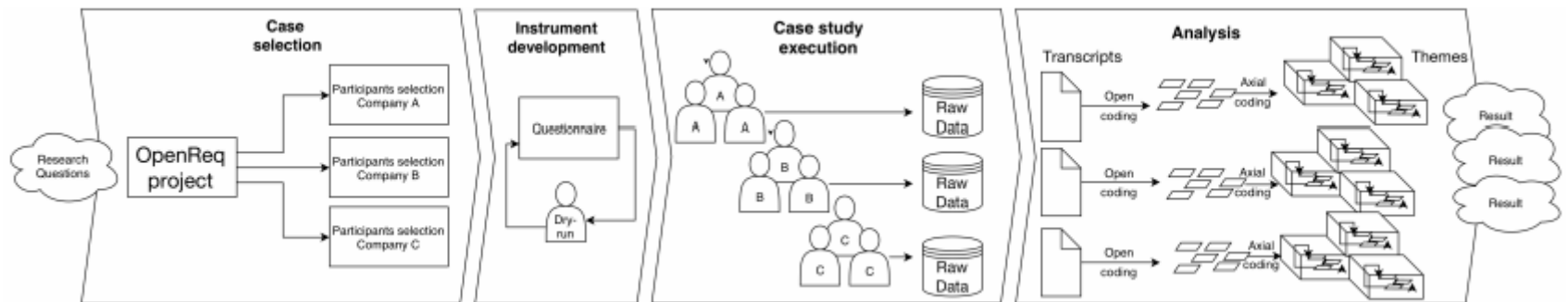
背景・目的

- 背景：
大規模システム開発での要求工学に関する方法論やツールが重要になっている
- 目的：
ステークホルダーが要求工学に関する方法論やツールに対して考えている要求や課題について明らかにする

アプローチ

3つの組織に所属するエキスパートを対象にインタビューを行った

- 組織・構成員のプロフィール
- 組織で現在問題ととらえている事項
- 問題を解決するための必要なもの・こと
- 問題解決にあたっての課題

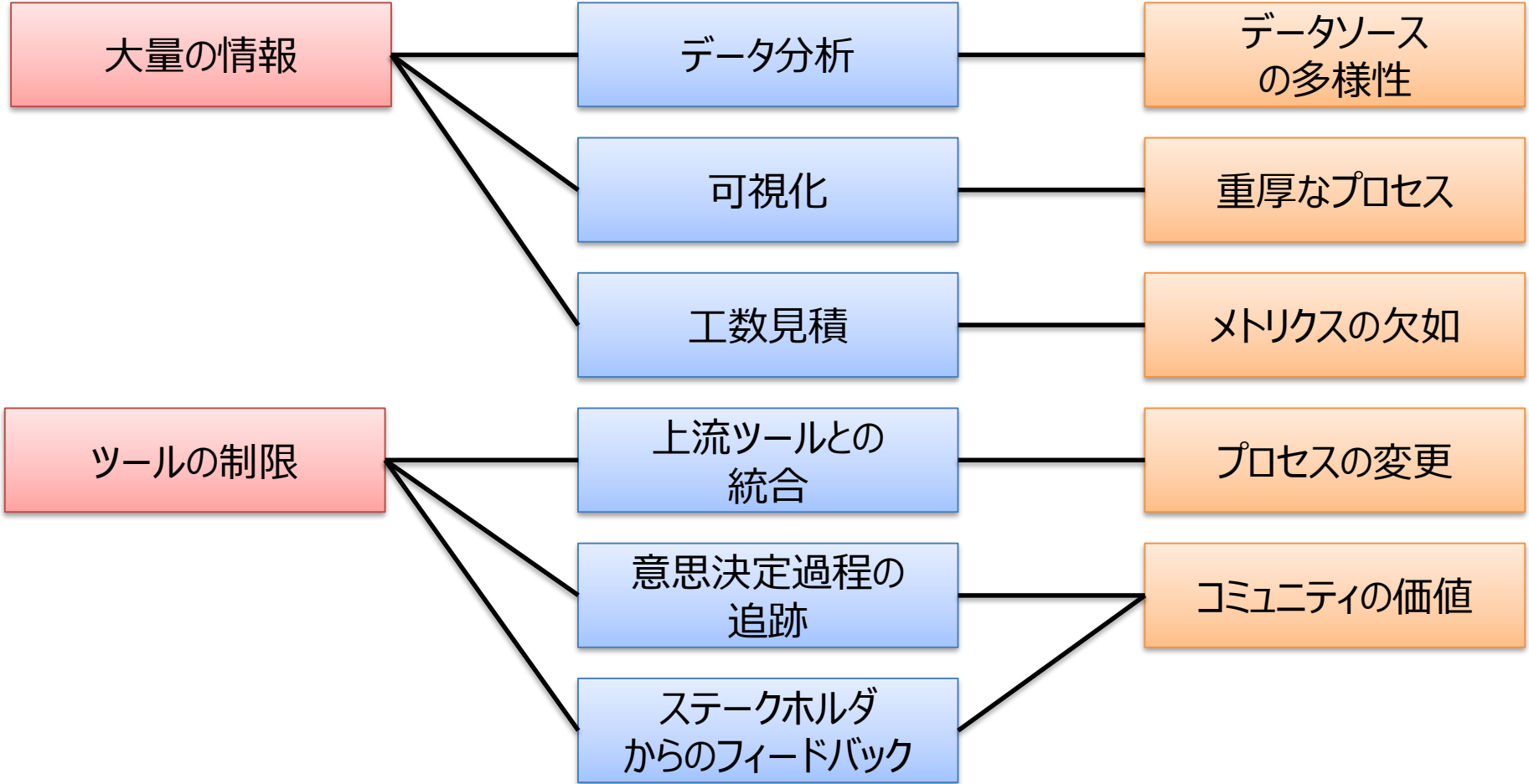


結果 (1/2)

問題

ニーズ

課題

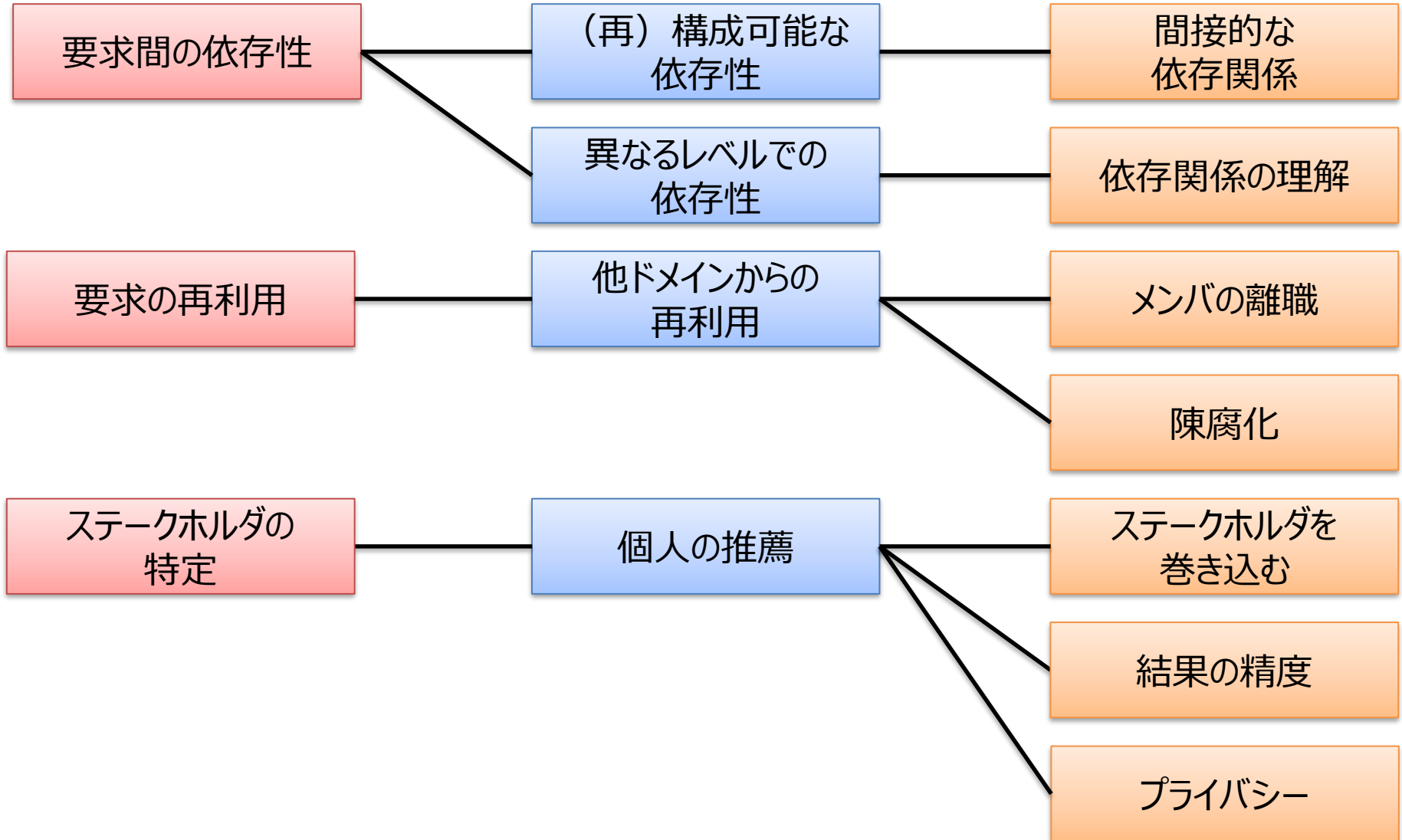


結果 (2/2)

問題

ニーズ

課題






考察

インタビューを通して下記のような課題や要求工学で取り組むべきことが明らかになった

- 複数のデータソースから発生する大量のデータの取り扱い
- 要求の依存関係・再利用におけるステークホルダの役割
- ツールを用いた意思決定におけるステークホルダの関与

所感

-  ステークホルダの関与も考慮して，要求工学に対するニーズを明らかにしている
-  実務者にインタビューを行い，丁寧に現場での問題，ニーズ，課題を洗い出している
-  何かを提案したわけではなく，調査，問題提起をしているだけとさえそれだけ